

やさしいクラゲの飼い方

独立行政法人 水産大学校 生物生産学科
教授 上野俊士郎

海に漂っているクラゲを自宅で飼育することは難しくありません。チャレンジしてみませんか？ やさしいクラゲの飼育法を紹介します。

1 ステップ：採集

4・5月の下関には多種類のクラゲが多数います。海の穏やかな日に、漁港などの岸壁からだとクラゲを見つけやすく、採集しやすいです。バケツや柄杓などでクラゲを水ごと採集し、空気を入れないようにパック容器などに密閉して持ち帰りましょう。

2 ステップ：飼育容器

ガラスコップや小型のプラスチック水槽で充分。通気もろ過もしなくて大丈夫。飼育容器は2週間以内に、きれいに洗ったものに交換を。

3 ステップ：飼育水

採集時に飼育用に海水も採集。ペットボトルやプラスチック容器にいて、海水は室温で長期保存が可能です。1～3日に一度、飼育水の半分量を交換。飼育水が白く濁ったら、すぐに全飼育水と容器を交換。

4 ステップ：飼育水温

水温は、自然海水と近いが、少し冷たいほうがよいです。また、変化が少ないほうがよいです。太陽光線を当てる必要はありません。

5 ステップ：餌

熱帯魚店などで売られているアルテミアの休眠卵（ブラインシュリンプのエッグ）が一番。しかし、アルテミアを食べないクラゲも。

ふ化後一日以内のものが栄養価が高いので、30分以内に食べ尽くす量を毎日少しずつふ化させましょう。スポイドを使うと便利です。

以上の5つのポイントをふまえて、クラゲ飼育にチャレンジしてください。困ったときは次のメールアドレスにお尋ね下さい。 uenos@fish-u.ac.jp

